

教頭通信デジタル

令和4年6月13日（月）第6号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

夏のボランティア体験に参加しよう!!



6月10日（金）放課後、備前市社会福祉協議会が主催する「夏のボランティア体験」の事前研修会が本校コンピュータ教室でありました。備前市社会福祉協議会吉永支所から2名の職員の方が来校され、コンピュータのプレゼンテーションソフトを使って分かりやすく説明してくださいました。この事前研修会に参加した生徒は、19名（1年生8名、2年生7名、3年生4名）でした。全校生徒数が27名なので、実に70パーセント以上の生徒が参加したことになります。凄い。職員の方からは、【ボランティア活動の6大ポイント】、【ボランティア保

険について】、【施設ボランティア参加の流れ】、【電話のかけ方について】、【健康チェック表について】、【活動記録・緊急連絡先について】、【活動の振り返りについて】、【おうちボランティアについて】の説明がありました。参加した生徒は蛍光ペンで印をつけたりメモをとったりしながら真剣に聴くことができました。次の説明が印象に残りました。

- ・ **とにかくやってみよう（担当者に積極的に聞いて活動しよう）**
- ・ **約束を守ろう**
- ・ **相手の気持ちを考えよう**

ボランティア活動に参加することで多くのことを学ぶことができます。自分を成長させることができます。体験を希望する人は、**6月15日（水）までに**参加申込書にボランティア保険代（350円）を添えて、担任の先生に提出してください。その後は**7月1日（金）までに**希望活動先に自分で連絡し活動日時を調整します。自分のことを自分で調整することで、**自己管理能力（セルフマネジメント力）**も向上させることができます。このことは本校のめざす**【自治が見える】**です。

下の表は、令和4年度岡山県公立高等学校「求める生徒像」からピックアップしたものです。岡山県教育委員会のHPからダウンロードすることもできます。多くの高校がボランティア活動をとおして、自己を成長させようとする生徒を求めています。他には、岡山工業高校、東岡山工業高校、邑久高校等で同様の生徒を求めています。さあ、夏のボランティア体験に積極的に参加し、自分を成長させましょう!!

和気閑谷	【全科共通】
	○ 集団生活の中で他者を思いやり、協力して学校生活を送ることができる生徒
	○ 自分を高めるために目標を立てて粘り強く努力を続けることができる生徒
	○ 閑谷学やボランティア活動などに積極的に取り組み、地域や社会の中で自己を成長させようとする生徒
	【普通科】
○ 大学・専門学校などへの進学や公務員・企業などへの就職を目指し、主体的に課題を探究しようとする生徒	
【キャリア探求科】	
○ ビジネスや福祉に興味・関心を持ち、資格取得などに意欲的に挑戦し、将来の進路に活かそうとする生徒	